みやの森通信

ワカル・ツナガル・オモシロイ

題字作成中

創刊準備号
2019/11/21
発行元:Ponteとやま
編集長:家森 謙

Ponteとやま５周年！これからもつながる面白さを追求します

Ponteとやま(みやの森カフェ) 住所: 富山県砺波市宮森303 電話:0763-77-3733 メール:miyanomori.ponte@gmail.com

Ponteとやま 検索

Ponteとやま ホームページ QRコード

Ponteとやま facebook 検索

Ponteとやま facebook QRコード

9月の 「いい男たち」

9月29日（日）

富山ダルクとコンテンポラリーダンサー
コーフィーさんの初コラボ☆彡

いい男たちの写真
（大事なことなんで2回書きました）

私たちの
「むちゃぶらー」な
企画交渉に
笑顔で答えてくれた
いい男たち！
やはり素晴らしかった！！

最後は、太鼓とダンスのワークショップで
大盛り上がりでした

10月は「オムライス」

10月10日（木）待望の
米沢シェフのオムライスを
食べる会が開催されました。

みやの森ｴﾌﾟﾛﾝを買わされた

米沢シェフは前日夜10時過ぎから仕込みに入りました。
前日夕方からと聞いていたのですが、途中温泉に入ってから買い物したために、時間がずれ込んだそうです。

当日は、香味野菜をたっぷり仕込んだ手作りの
トマトソース、
ホワイトソース、
ドミグラスソースと、
チキンやローリエや
野菜を炊き込んだ
バターライス＆
こだわり卵で**絶品オムライスが出来上がり、**
待っていた人をうならせました。
またの開催を期待されています。

料理は愛情。原価は内緒

ERIKO店長の料理一発一本勝負

これだけ～

★3ステップで超おいしい！！
超カンタン炊き込みごはん

＜材料＞ツナ缶１，人参1/2，スイートコーンホール缶１，米2合，しょうゆ大さじ２
＜作り方＞①米を洗ってざるにあげておく
②炊飯器に米、ツナ缶（汁ごと）としょうゆを混ぜ、2合の線まで水を入れる。
③１cmの角切りをした人参と水切りしたコーンをのせて炊く

怒

( )内数字で
怒割合表記
0−100%

Ponteとやまの拠点はみやの森カフェ。
み・や・の←ひらがななんですっ
住所は砺波市宮森←漢字です。。by理事長（75%）
⇒「えー、私は『みやのもりカフェ』って全て
仮名で書いてるし」by 小3女子 (60%←15%down)

12月のお知らせ

ちょっとだけよ

☆ 1日（日）Ponte人気プログラム「キッズカフェ」
☆15日（日）WAKUWAKUサークル園芸療法プログラム＆ミニクリスマス会
あとは、毎月のカレンダー or Facebookやブログを見てね。。

（↑点線キリトリ）〈アンケート欄：これよかった・こうした方がいいな・感想・要望等々記入頂き、みやの森カフェ内の投函箱へ入れてください。Ponteとやまのメール miyanomori.ponte@gmail.com へ送信頂いてもOKです〉

編集長
家森謙の

まずは三か月やってみよう

cool米沢↓

注目!

Ponteとやま５周年イベント密着↓

第一部:講演:オモロイ感じの子どもをええ感じの大人に～発達障がいは発達する～

講師：樋端 佑樹氏(といばな ゆうき　信州大学医師)

2019/9/15(日)　13:30-14:30　特別養護老人ホームはるかぜ（富山県高岡市）

◆「医者」・・？

この肩書きにみなさんどんなイメージをお持ちだろうか？閉鎖的空間、『白い巨塔』、抑圧、抗えない存在・・ネガティブな印象を持たれがち？な肩書持つこの人の講演資料1ページ目、メールアドレスの下に　”ご質問はご遠慮無く”　と書かれている。**今日の参加者約70人から一斉にメール来てもレスポンスする**とも仰っている。長野から富山へ来る際も、新幹線でなくアルペンルートを通り、海見てから来たらしい。「医者」のイメージとは似つかない、オープン／アクティブ／フレンドリー。場が和むのに時間掛からなかったのは言うまでもない。

◆生きる「ヒント」

凸凹、マイノリティ、生きづらさ、支援云々、手法・・。発達障がいと向き合う上で、何が起きてるか理解する為の理論は欠かせない。が、それは問題解決の本質ではない。「理屈解った。じゃあ私どうするん？」のヒントを知りたいからみんなお金払って聞きに来てるんだし、「講演面白かったねアハハ」止まりも正直困る（面白いのは極めて重要だが）。限られた講演時間内、**理論と豊富なカウンセリング経験の掛け算から導き出された「ヒント」がちりばめられていた。**以下一例

・思春期までは自分好き、人や世界に対する信頼感確立。思春期以降、様々な価値観に触れ、選び、ｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾃｨ確立
・多数派に合わせる特性をもってしまってると、合わせる事にエネルギー取られ、本来持っている特性生かせない
・思い通りにならない世の中。マイノリティにとっては特にそう。だからこそ余暇活動と居場所大事
・安心安全な場の大切さ／必要性 (安心安全。だから色々出来る)
・カウンセリング実例紹介。通知票のコメント欄をよくよく読み解くとわかる「これってADHD？」「じつはASD？」

◆「お前、ちょっとおもろいやん。納得」

理論と豊富なｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ経験に基づいた講演。確かに有益かもしれない。が、それだけでは・・・眠い。「有益」だけではだめ。「有益＋面白い＋適正価格＋おまけ＋キュッパ」を訴求したい。そんな中、このお医者さんはｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞに来た子供へ「お前こんな事を思っているのか。で、カンボジアで起業したいと思っているのか。面白い。やれやれ」とけしかけたり、会場でいきなり歌いだす人へやさしいまなざしで「いやぁ素晴らしいですねぇ～」と聞いてあげたり・・。

理屈で自己肯定感向上な事言ったって、相手が納得するとは限らない。納得しなければ人はなかなか動けない。そこには相手を納得させてあげられる心の働きかけ／人としての懐深さが不可欠。その思考行動のベースには自己肯定感の高さのみならず、「好奇心、刺激求、冒険家、発明家、起業家、ハンタータイプ」が有るのは想像に難くない

第二部:おもろい若者×樋端氏パネルトーク

質疑応答も交えつつ、色々？盛り上がりました

Lemonを熱唱し、イベント後に自作Tシャツを臨時即売する金谷智さん(かなにゃん)

「俺、坂〇冬美さん歌うから一緒に着物で来ようぜ！」と左の写真の人に言われたが、当人は当日演歌気分でなく、Tｼｬﾂで来た為はしごを外された米沢拓也さん

普通の人(自称)
澤田啓輔さん

ある意味一番ﾉｰﾏﾙ山口翔太さん

目

ボール炸裂蛍光塗料飛散。騒然

▼九月十五日ポンテとやま５周年記念イベントの一コマ。樋端講師に笑いの神が降りた▼第一部講演。一時間でプレゼン資料四十枚。分量多も尺は収まった。盛況▼第二部パネルトーク。売り文句は「新しい時代を作るぶっちゃけトーク」会場の空気も緩み、少し疲れも出たんだろう。ぷにぷにボールとやらをモミモミ揉みだしたのである。落ち着くらしい。会場も何気なく受け流していた。落とし穴とも知らず▼トークが進み、パネラーの話も油が乗って来た。話の掛け合いも増えてきた。「おおいいじゃん、それでそれで！！」ぷにぶにのモミモミにも一層の力。その瞬間、『ブッチュチュチュー！』▼想定外の揉みチューで塗料まみれの手を拭かせるタオルのリカバリも遅い。笑いの渦。横目で見ながら質疑応答に答え続ける他パネラー。「新しい時代を作るブっチゃけトーク」だった▼水野さんの締めの挨拶は秀逸「（ポンテとやまは）面白さを磨いていきます。今日はありがとうございました！」